

2019年度 就労継続支援 A 型事業にこここ会 事業計画

はじめに

昨年、A 型事業所による大量解雇の問題、中央官庁等における雇用率の水増しなど、障がいのある人の「働く」や「働き方」が揺らいでいます。にこここ会は福祉工場から「働く」にこだわってきているだけに、由々しき問題ととらえています。ただ、近年最低賃金が上昇する中で障がい者の働く力と賃金の関係に疑問も生じてきています。しかし、支援する立場の者として今改めて「働く」を整理する必要があるとおもいます。本人さんたちにどのように支援したらよいかを系統だてて学ぶ必要があります。「働く」は生きがいを支える事ことであることを皆で共有することは忘れてはいけません。又、福山市に於いては障がい者就労支援強化事業として、就労支援サービスの利用者負担が無料でしたが今年度からなくなりました。ただ、所得制限がある為、にこここ会の従業員で対象の人はいません。しかし、前年度就労会計に置いて多額の負債をあげたことは大きな問題です。今年度は原価・仕入先の見直し、作業工程の見直し・営業等早急にやることで改善を図りたいです。

1. 基本方針

働く目的を一緒に考える

働きやすい環境作りを提供する

事業所が出来ること、自分たちがやるべきことを明確にする

働く力を評価する（人事考課）

2. 概要

就労継続支援 A 型 定員 20 名（現員 15 名一男 10 名・女 5 名）

職員配置

瀬良京子	管理者（兼務）
有永高道	サービス管理責任者
高橋新子	生活支援員
大村正徳	職業指導員
橋本智恵	職業指導員（賃金向上達成指導員）
能島美由紀	職業指導員（時間給制労働者）
黒瀬敬子	調理員（"）

	単価 円
報酬単価	6,030
食事提供加算	300
福祉専門職加算	60
賃金向上達成指導員配置加算	700
施設外就労加算	1,000
処遇改善加算 5.4%	

3. サービス

サービス提供日数 265 日（雇用契約による有給休暇を除く）

サービス提供時間 午前 8 時 30 分～午後 4 時（内、雇用契約による休憩 1 時間）
ただし、作業・実習・イベントその他の諸事情により変更あり

サービス提供内容 利用契約に基づき作業指導及び訓練
全ての作業は個別支援計画に基づいて行う

雇用契約に基づく

個別支援計画においての実習は無給となる場合がある

健康管理

① 相談・助言・・・・・・・・必要に応じて実施

② 医療及び 健康管理

健康診断 医療機関による健康診断 7月

歯科検診 6月

腸内細菌検査 7月・食品従事者は毎月

緊急の場合の対応は状況に応じて行う

協力医療機関 よしたかクリニック（神辺町新徳田）

③ 生活支援

本人、家族等の状況確認を行い他機関（計画相談事業所等）と連携を図る

非常災害対策・消防訓練 8月・2月

防災対策 ハザードマップによる避難対策の確認（居住地）

④ 研修（関係機関と連携をとる）

・マナー研修

・衛生研修

・その他必要と思われる事

作 業

職員は、商品の原価及び工程の見直し等を行い、収益率を高める。数字の確認ができるようにしていく。従業員にも自分の行っている仕事に誇りが持てるよう個別支援計画の元、働きかける。職員間の連携を図り、週2日は営業に回る。

たれ作業

職員は、原価計算・仕入れ先等の確認を早急に対応し、販売元との商談を密にする。従業員は、作業稼働日以外は他の作業に入り、生産を高める。

コロッケ作業

地産地消・アレルギー対応を柱に、学校給食に納品できるよう働きかける。従業員の役割を明確にし、責任をもって行動できるよう働きかける。

手織り・縫製作業

従業員が完成度の高い商品作りには課題があるものの、丁寧に作ることを心がけるよう伝える。地元産業との連携を図る。

串刺し作業

生産数が安定してできるよう体制を作る。職員間の連携をも取れるよう取り組む。

施設外就労（センター・社員寮の清掃、牛舎えさ入れレーンの清掃）

決められた時間のなかで、完成度の高い清掃をめざす。挨拶、報告ができるよう働きかける。